

令和3年産

大崎稲作情報 第8号

令和3年8月18日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今後の管理のポイント

- ✓ 落水は出穂後30日頃を目安に行いましょう
- ✓ 適期刈取りに努めましょう
- ✓ 品質維持のため適正な乾燥・調製に努めましょう

1. 気象経過

7月第4半旬から8月第1半旬までは高温多照でしたが、それ以降は日照時間は平年を下回り、8月第3半旬は平均気温も平年を下回りました。降水量は7月第4半旬～第5半旬は少雨でしたが、台風第8号の影響で7月第6半旬にまとまった降雨がありました。8月8日以降は雨の日が多くなっています。

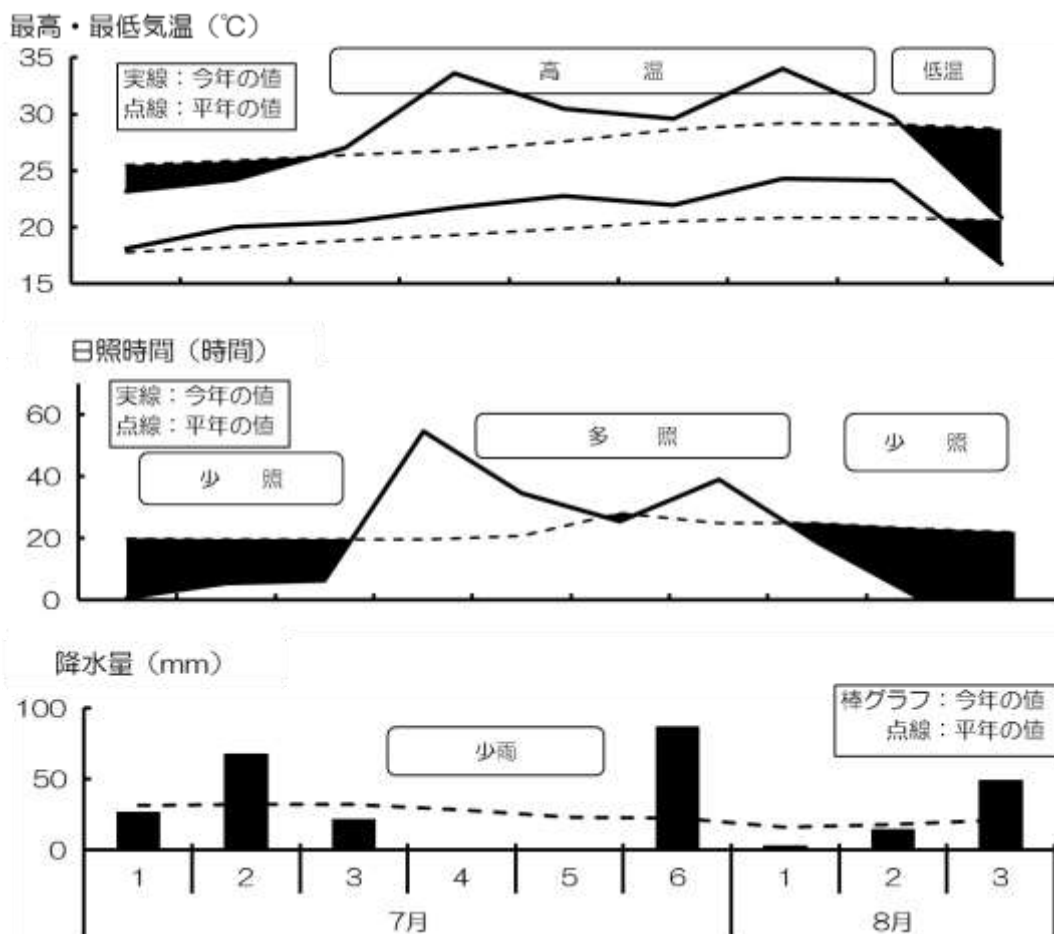


図1 7・8月の気象 (古川アメダス)

2. 出穂状況

出穂期は大崎管内・県全体とも平年より4日早くなりました。穂揃期も管内は4日早くなりました。

表1 管内の出穂状況

	出穂始期	出穂期	穂揃期
管内全体	7月27日 3日早い	7月29日 4日早い	8月5日 4日早い
県全体	7月26日 4日早い	7月30日 4日早い	8月7日 3日早い

※出穂始期, 出穂期, 穂揃期はそれぞれ作付見込面積の5%, 50%, 95%以上が出穂した日。下段は平年差。

3. 生育概況（出穂・穂揃期葉色）

各生育調査ほの出穂期は平年より早くなりました。

穂揃期の葉色は, 期待葉色値（ひとめぼれ：33～35）よりもやや淡い～並となっています。

表2 生育調査結果

品種名	地区名	田植・播種月日	出穂期 (平年差)	穂揃期葉色 (平年差)	備考
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月2日	7月28日 5日早い	30.6 (-1.6)	
ひとめぼれ	加美町小野田	5月16日	8月3日 3日早い	34.3 (+3.6)	
ササニシキ	大崎市古川	5月10日	8月2日 1日早い	33.0 (-0.8)	
つや姫	色麻町四竈	5月3日	8月7日 6日早い	29.8 (-3.2)	前年比・差
だて正夢	大崎市三本木	5月16日	8月2日 3日早い	34.5 (-1.3)	前年比・差
金のいぶき	大崎市三本木	5月10日	8月4日 4日早い	31.5 (-3.6)	前年比・差
まなむすめ	加美町宮崎	5月14日	8月3日 1日早い	34.0 (-0.3)	
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月22日	7月31日 9日早い	34.6 (-7.3)	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩出山	5月16日	8月6日 3日早い	35.2 (+2.5)	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	5月4日	8月10日 3日早い	33.5 (+3.3)	

※平年比・差は前5か年（平成28年～令和2年）との比較

4. 今後の管理

1) 水管理

落水時期の適期は出穂後30日頃になります。

ただし湿田はやや早め、乾田はやや遅めに落水するなど、ほ場条件、天候、登熟状況などを考慮して落水時期を決めましょう。

早期落水は白未熟粒の発生を増加させ、玄米の品質を著しく低下させることから、適期落水に努めましょう。

2) 適期刈取

刈取適期を判断するためには、ほ場全体をよく観察し総合的に判断することが大切です。以下の刈取適期の目安を参考に適期刈取に努めましょう。

出穂期が分からない場合は、籾水分や籾・穂軸の色から判断しましょう。それぞれの目安は期間や条件が異なるので、組合わせて使うとより効果的となります。

表3 刈取適期の目安（出穂後の積算平均気温、出穂後の日数）

品種名	積算気温	出穂後日数
ひとめぼれ	940℃~1100℃	40日~45日
まなむすめ	960℃~1050℃	
ササニシキ	930℃~1170℃	45日~50日
みやこがねもち	950℃~1150℃	
だて正夢	1020℃~1060℃	50日前後
金のいぶき	1050℃~1150℃	50日~55日
つや姫	1000℃~1200℃	

籾水分：25%~21%

籾・穂軸の色
 籾：80~90%程度が成熟して黄変
 穂軸：先端から3分の1程度が黄変

表4 出穂後の積算平均気温による刈取時期の目安

区分	積算気温	出穂期										備考
		7/25	7/27	7/29	7/31	8/2	8/4	8/6	8/8	8/10	8/12	
北部平坦	940℃	9/3	9/6	9/8	9/10	9/13	9/15	9/18	9/21	9/24	9/26	北部平坦の出穂期は7/29
	1,000℃	9/6	9/8	9/11	9/13	9/16	9/18	9/21	9/24	9/27	9/29	
	1,100℃	9/11	9/13	9/15	9/18	9/21	9/24	9/27	9/30	10/3	10/5	
西部丘陵	940℃	9/5	9/7	9/10	9/12	9/15	9/18	9/21	9/23	9/26	9/29	西部丘陵の出穂期は7/31
	1,000℃	9/8	9/10	9/13	9/15	9/18	9/21	9/24	9/27	9/30	10/2	
	1,100℃	9/13	9/15	9/18	9/20	9/23	9/27	9/30	10/3	10/7	10/9	

※北部平坦は古川、西部丘陵は川渡のアメダスデータ使用。アメダスデータは8/16までは令和3年の値で、8/16以降は平年値データを使用。

網掛け部分は出穂始期(出穂5%)から穂揃期(出穂95%)の範囲。

出穂期後の積算平均気温到達推定日は、出穂期翌日から積算平均気温が940、1000、1100℃を超えた日とした。

～ 刈取り時の注意点 ～

- ✓ 適期の刈取りに努めましょう
早刈り：未熟粒の増加，粳の高水分による粳・玄米の損傷
刈遅れ：着色粒・胴割粒の増加，玄米の光沢がなくなる
- ✓ 品種の切り替え時は十分な清掃を行い，異品種の混入防止に努めましょう
- ✓ 収穫前は雑草（クサネム等）を抜き取り，雑草種子の混入防止に努めましょう

3) 乾燥作業 **玄米水分 14.5%～15.0%に仕上げる**

乾燥作業で重要なことは粳の水分ムラをなくし，適度な水分に仕上げることで
す。そのため，収穫後の速やかな乾燥，きめ細かい粳の水分管理，乾燥時の温度
管理に注意して行いましょう。

- ✓ 収穫後，速やかな乾燥
収穫した粳の長時間放置は品質低下の原因になります。収穫後は速やかに
乾燥機へ張り込み送風循環しましょう。
- ✓ 水分測定は最低3回
粳水分はバラつきが多く，1～2回の測定により粳水分の平均を求めるこ
とは困難です。水分測定の精度を高めるために最低3回は行いましょう。
- ✓ 過乾燥の防止
倒伏した稲や未熟粒の多い稲は高水分の粳の混入が多いため，過乾燥とな
りやすい傾向があります。過乾燥は胴割粒の発生・砕粒の増加・光沢の低下
など品質低下を招きます。
高水分の粳を機械乾燥する場合は，二段乾燥※を行い，水分ムラや胴割粒の
発生を抑えましょう。
※ 二段乾燥…粳水分が20%以下になるまで乾燥した後，乾燥を一時中断し，
粳の水分ムラが少なくなってから再度仕上乾燥を行う。

4) 調製作業 **適正な調製で整粒歩合80%を確保**

調製作業の良し悪しにより検査等級が大きく左右されます。品質維持のため肌ず
れの防止，整粒歩合の確保に努めましょう。

- ✓ 肌ずれ防止のため，粳摺りは粳の温度が低くなってから行いましょう
- ✓ 粳に見合った適正なロールの調整を行いましょう
- ✓ 整粒歩合80%以上確保するよう米選機の網目を選択しましょう

表5 水稻玄米の検査等級

等級	最低限度		最高限度					
	整粒 (%)	形質	水分 (%)	被害粒、死米、着色粒、異種穀粒及び異物				
				計 (%)	死米 (%)	着色粒 (%)	異種穀粒 (%)	異物 (%)
1等	70	1等標準品	15.0	15	7	0.1	0.4	0.2
2等	60	2等標準品	15.0	20	10	0.3	0.8	0.4
3等	45	3等標準品	15.0	30	20	0.7	1.7	0.6

規格外—1等から3等までのそれぞれの品位に適合しない玄米であって、異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの

東北地方 1 か月予報

(8月14日から9月13日までの天候見通し)

令和3年8月12日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<予想される向こう1か月の天候>

期間のはじめは、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。その後は、天気は数日の周期で変わってでしょう。平均気温は、高い確率60%です。降水量は、多い確率50%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	30	60
【降水量】	東北地方	20	30	50
【日照時間】	東北地方	40	40	20

<気温経過の各階級の確率 (%) >

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	20	50	30
2 週 目	東北地方	10	30	60
3~4週目	東北地方	20	30	50

◆◆◆◆◆◆◆◆農薬危害防止運動(6月1日~8月31日)◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「農薬は 周りに配慮し 正しく使用」